

田野畑村総合計画基本構想（令和4～11年）

前期基本計画（令和4～7年）の重要業績評価指数（KPI）の実施状況

重点施策1：地域資源を生かした新たな雇用の創出（総合計画48頁）

区分	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	目標指数	実績	目標指数	実績	目標指数	実績	目標指数	実績
起業・創業者数(者)	1	3	1	0	1	0	1	
新商品の開発(商品化)数(件)	5	17	5	7	5	2	5	
体験観光者数(人/年)	5,000	4,241	5,300	3,336	5,600	4,537	6,000	
道の駅たのはたの利用者数(人/年)	300,000	273,284	300,000	234,734	300,000	199,352	300,000	
道の駅たのはたの売り上げ(万/年)	13,000	13,500	13,300	11,920	13,600	10,744	13,900	
<p>◆起業・創業者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業・創業者数については実績がなかったが、「新規起業等支援補助金」は3件の利用があった。 ・村商工会と連携して補助金や空き店舗等を活用してもらい、若い世代が起業できるよう支援をしていく必要がある。 <p>◆新商品の開発(商品化)数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発(商品化)数は目標を下回ったが、既存商品のラベル改良や販促物の作成などに取り組んだ。引き続き村産品を活用した商品開発に取り組むとともに、村内加工の推進を図りたい。併せて、新商品の販路開拓や販売増に向けたPRに努めていきたい。 R4：クロモジリキュール、クロモジビターズ、若芽うどん、若芽ドレッシング、おやき、ヅケ井の具、三鉄コラボヅケ井、若芽そば、たのはた若芽スープカレー、金運なまこパン、あい鴨こくまタンドリー仕立て、KU×KU キャロットミックスジュース、KU×KU アップルワイン、冷凍早採りワカメ、乾燥カットわかめ、牛乳なまこパン R5：極み若芽、田野畑焼き、田野畑焼き井、田野畑ドッグ、たのはたボディミルク、Golden Bean to Bar、たのはたヨーグルトフィナンシェ R6：銀河の忘れもの（ヨーグルトプリン）、若めのワカメ（フリーズドライ） <p>◆体験観光客数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入込数は前年度比136.0%。メインメニューのサップ船アドベンチャーズは新型コロナウイルス禍以前の水準に回復し、他の体験メニューでも大津波語り部やネイチャートレッキングガイドの利用が増加した。教育旅行体験においても、新型コロナウイルス禍で県内需要が高まった令和4年度には及ばないものの、前年度比138.3%と好調だった。 ・今後の課題として、冬季の集客及びみちのく潮風トレイルハイカーの外国人対応を強化する必要がある。 <p>◆道の駅たのはたの利用者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅たのはたの利用者数は、三陸沿岸道路全線開通後の国道利用台数の低下及び相次ぐ三陸沿岸道路沿線の道の駅オープンの影響により、目標の66.5%の実績だった。チェーンベースのインターチェンジ化に合わせて集客に向けた改善に取り組み、目標達成を目指していく。 <p>◆道の駅たのはたの売り上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅たのはたの売り上げは目標に対し79.0%の実績だった。村産品や新たな開発商品のPR・販売や集客に向けた取り組みにより、売り上げ増加を図っていく。 								

重点施策2：地域を支えるU・I・Jターンの促進（総合計画 51 頁）

区分	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	目標指数	実績	目標指数	実績	目標指数	実績	目標指数	実績
U・I・Jターナー者用住宅確保戸数(戸)	1	0	1	0	1	4	1	
U・I・Jターナー者数(人)	40	26	40	25	40	43	40	
ふるさと納税寄付者数(人/年)	500	306	550	564	600	1,812	650	
村ホームページアクセス数(千回/年)	500	695	500	577	500	575	500	
<p>◆U・I・Jターナー者用住宅確保戸数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在確保している空き家等は4件。引き続き空き家の確保に努め、随時村のホームページに掲載するとともに、情報発信していく。 ・U・I・Jターナーを積極的に促進するため、既存の定住促進住宅や移住お試し住宅の活用、さらには新築による整備も含めて住宅の確保を図ってきたい。 <p>◆U・I・Jターナー者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・43人のうち、Uターナー者が15人と約3割を占めている。村外出身者も増えてきており、引き続き移住定住につながる支援等を実施していきたい。 <p>◆ふるさと納税寄付者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税（返礼品あり）件数2,081件となり、新規寄付者及びリピーターが増加した。 ・今後、提供返礼品ラインナップの増と寄付者とを繋ぐポータルサイト等の強化を図り、村外に向けた情報発信を推進したい。 <p>◆村ホームページアクセス数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村ホームページアクセス数については、前年度と比較しやや減少したものの目標指数を越えているため、情報発信の役割を果たしているといえる。傾向として、春季から夏季のイベントが多い期間に合わせて新規ユーザの観光サイトへのアクセスが増加している。 ・今後の課題としては、ウェブアクセシビリティを高め、すべての人が利用しやすいウェブコンテンツを目指すことが必要となる。 								

重点施策3：結婚・出産・子育て環境の支援（総合計画 53 頁）

区分	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	目標指数	実績	目標指数	実績	目標指数	実績	目標指数	実績
保育所・児童館入所希望者充足率(%)	100	100	100	100	100	100	100	
奨学金利用件数(件/年)	3	3	3	1	3	0	3	
出生者数(人/回)	10	7	10	10	10	3	10	
<p>◆保育所・児童館入所希望者充足率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども園の定員は60名。出生数の減もあり今後も100%を保てるものと思われる。 <p>◆奨学金利用件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度から貸付金額の増額や返済期間の延長など、借受者が利用しやすい制度に改正した。引き続き、よりよい制度となるよう検討するとと 								

もに、向学心に燃える生徒等が経済的理由により進学を断念することがないように制度の周知に努めたい。

◆出生者数

- ・ 出産、子育てを支援するため、妊産婦および子ども（出生から高校生まで）の医療費助成（医療費無料化）を行っており、今後も継続する。
（※令和6年度助成額 妊産婦医療費助成 376,137 円、子ども医療費助成 7,751,631 円）
- ・ 不妊治療を受ける夫婦の経済的負担を軽減し、少子化対策に資するため、治療に要する経費の一部を助成しており、今後も継続する。
（※令和6年度助成額 実績なし）
- ・ 出産費用の負担軽減のために、国民健康保険等の被保険者が出産したときに出産育児一時金を 50 万円支給する。（全国一律）

重点施策4：地域づくり・地域コミュニティの充実（総合計画 54 頁）

区分	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	目標指数	実績	目標指数	実績	目標指数	実績	目標指数	実績
地域づくり実践活動(協働の村づくり補助等の活用)(件/年)	5	4	5	4	5	2	5	
地域情報の発信件数(地区)	2	1	3	1	4	1	5	
<p>◆地域づくり実践活動(協働の村づくり補助等の活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 浜岩泉自治会、机自治会で実践活動として協働の村づくり推進事業補助金が活用された。 ・ 目標を下回ったことから、引き続き未活用の自治会などに声を掛け、協業による協働の村づくりの推進に努めたい。 <p>◆地域情報の発信件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 明戸行政区での情報発信 1 件となった。村出身者への地域情報の発信により、U ターンの促進、ふるさと納税の増加等が見込まれることから、自治協議会や自治会単位での情報発信がなされるよう活動を展開していきたい。 								

重点施策5：広域圏及び多様な協力・連携の推進（総合計画 56 頁）

区分	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	目標指数	実績	目標指数	実績	目標指数	実績	目標指数	実績
連携事業数(事業)	1	1	1	4	1	4	1	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 村主体の官民連携事業として早稲田大学との地域連携ワークショップ、地域連携スタディツアー、岩手県立大学との官学連携事業を実施した。 ・ 小規模町村としての四村連携事業（九戸村、野田村、普代村）や近隣町村での三町村連携事業（岩泉町、普代村）など広域連携を展開している。 								